

Red Hat Ansible Automation Platform を使って Google Cloud に移行する



クラウドリソースのライフサイクルを自動化

Red Hat Ansible Automation Platform を使うことにより、クラウドワークフロー全体を自動化できます。Google Cloud を活用すると、以下のことが可能になります。

- ▶ クラウドプロジェクトの設定
- ▶ クラウドインスタンスのデプロイと廃棄
- ▶ Kubernetes クラスターの作成と破棄
- ▶ Web サーバーのインストール
- ▶ オペレーティングシステムへのパッチ適用

これらのユースケースについて詳しくは、この概要をご覧ください。

マルチクラウド環境でのワークロードの移行と管理

ビジネスクリティカルなアプリケーションをクラウド環境にデプロイすることは、今や当たり前になっています。それでも、クラウドへの移行や、ハイブリッド環境やマルチクラウド環境でのワークロードやリソースの管理は、手作業で行うと大変で時間がかかる上、ミスが発生しがちです。クラウドの自動化 (IT 自動化をクラウド・テクノロジーに適用する) は、クラウドへの移行とクラウド環境の広範囲にわたる管理をより効率的に行うのに役立ちます。

クラウドの自動化により、自社の環境全体の IT ライフサイクルを管理するためのワークフロー全体が効率化されます。ビジネスが必要とする環境、システム、アプリケーションを自動的にセットアップし、移行することで、クラウドリソースをオーケストレーションします。環境の稼働を維持するための Day 1 および Day 2 のタスクを自動化することで、継続的なクラウドプロセスを運用化します。すべての要素がビジネス要件に従って実行されるようにするため、大規模にポリシーを適用および実施することによりクラウド環境を管理します。

Red Hat® Ansible® Automation Platform on Google Cloud を使用することにより、プライベートクラウド、オンサイトデータセンター、エッジロケーションなど、環境全体にわたってワークロードとリソースをオーケストレーション、運用、管理し、一貫した自動化エクスペリエンスを提供できます。

Ansible Automation Platform で Google Cloud 環境をオーケストレーションする

クラウドプロバイダーや IT 環境の他のテクノロジーと連携できる統合自動化プラットフォームは、効果的なクラウドワークフローの移行と管理の中核になるものです。Red Hat Ansible Automation Platform on Google Cloud は、既存のアプリケーションの Google Cloud への移行を高速化し、ハイブリッド環境およびマルチクラウド環境全体の IT ワークロードおよびリソース管理を単純化します。

Ansible Automation Platform はエンタープライズ向け IT 自動化ソリューションで、自動化を大規模に構築し、デプロイし、管理するために必要なすべての機能が備わっています。シンプルな自動化言語により、高度なワークフローを作成し、組織全体で自動化資産を共有して管理できます。Google Virtual Private Cloud (VPC) や Google Compute などの Google Cloud のネイティブサービスと、Ansible Content Collections for Google Cloud を統合することで、運用開始までの時間を短縮できます。クラウド・コンピューティングの実力と統合サービスの利便性を組み合わせることで、すぐにプラットフォームをデプロイし、Google Cloud リソースを自動化することができます。

Ansible Automation Platform の一部である Event-Driven Ansible を使用すると、ユーザー定義のルールベースのコンストラクトを介して環境で観察されたイベントにตอบสนองして、IT アクションを自動化できます。サードパーティ製ツールからの通知を受信し、ルールに基づいたアクションを決定し、Ansible Playbook を使用して自動的にตอบสนองします。Event-Driven Ansible を使用すると、IT 環境全体にわたる幅広い複雑なユースケースに対して、エンドツーエンドで完全に自動化されたワークフローを作成できます。

Red Hat はこのサブスクリプションベースのセルフマネージド型ソリューションを Premium サポートレベルでサポートし、お客様は経験豊富なテクニカルサポートエンジニアのグローバルネットワークに 24 時間 365 日無制限でアクセスできます。Ansible Automation Platform と他の Google Cloud サービスの請求が統合されるため、コストを完全に可視化できます。また、Ansible Automation Platform のデプロイメントに、Google Cloud 確約利用割引 (CUD) を利用できます。



[Red Hat Ansible Certified Content](#) について詳しく読む

Red Hat Ansible Certified Content で自動化を単純化する

[Google Cloud Ansible Certified Content Collection](#) は、Ansible Automation Platform と Google Cloud を統合するため、IT ドメインやテクノロジーにまたがるデプロイメント全体を自動的に管理できます。[Ansible automation Hub](#) を介してアクセス可能なこの事前構成済みのコンテンツには、Compute Engine インスタンス、Cloud SQL データベース作成、Google Cloud デプロイ監視など、多くの一般的な Google Cloud 運用を Ansible Automation Platform から直接自動化するためのモジュール、ロール、プラグイン、ドキュメントが含まれています。このコレクションを使用して、Red Hat と Google Cloud が開発、テスト、サポートする信頼できるコンテンツに基づき、高度な自動化ワークフローを構築します。また、Red Hat は、すべての [Red Hat Ansible Certified Content](#) コレクションに含まれる、ユーザーに直接自動化を提供する自動化アセットを主要な製品リリースとは別に維持およびリリースしているため、お客様は最新の機能とコンテンツを滞りなく使い始めることができます。



[Google Cloud 自動化ワークフローの Playbook のサンプル](#) にアクセスする

Google Cloud のユースケースでより迅速に開始する

Google Cloud Ansible Certified Content Collection により自動化できるユースケースはたくさんあります。ハイブリッド環境やマルチクラウド環境全体にカスタマイズしてデプロイできる例をいくつかご紹介します。

Google Cloud プロジェクトの設定

`gcp_resourcemanager_project` モジュールを使用すると、常に企業ポリシーに準拠した [Google Cloud プロジェクトを作成](#) できます。特定のプロジェクト要件に基づいて、再利用可能な Playbook でモジュール・パラメーターをオーバーライドし、適切なデフォルト値によって構成が完全になるようにします。

Google Cloud インスタンスのデプロイ

`gcp_compute` モジュールは、[Google Cloud インスタンスのデプロイ](#) を単純化し、リージョンやゾーン間の一貫性を維持するのに役立ちます。認証済みモジュールを使用して Playbook を作成し、ストレージの割り当て、Google VPC ネットワークとサブネットワークの設定、ファイアウォールルールの設定、パブリック IP (インターネット・プロトコル) アドレスの生成、仮想マシン (VM) インスタンスのプロビジョニングを行います。Google Cloud のリージョン、ゾーン、プロジェクトなどの設定オプションに変数を追加して、Playbook を再利用可能にし、Google Cloud インスタンスをどこにでもデプロイできるようにします。

Google Cloud インスタンスの廃棄

Ansible Automation Platform を使って VM のスプロールを制御できます。[Google Cloud インスタンスと関連リソースを廃棄](#) することで、タグ付けされておらず、使用されていない、時折必要になる VM をシャットダウンします。`gcp_compute` モジュールを使用して、VM インスタンスの廃棄、パブリック IP アドレスの割り当て解除、ファイアウォール設定ルールの削除、Google VPC ネットワークの終了、ストレージのマッピング解除を行います。モジュールを使用して Google Cloud リソースに関する情報を動的に検索することで、Playbook 内のハードコーディングされた値を回避し、環境全体で Playbook を再利用できます。



完全に自動化されたハイブリッドクラウドのワークフロー構築について、詳しくは [e ブック「ハイブリッドクラウドを大規模に自動化」](#) をご覧ください。

Google Kubernetes Engine クラスタの作成

Google Cloud Ansible Certified Content は、[Google Kubernetes Engine \(GKE\) クラスタを Google Cloud デプロイメント全体で一貫して作成](#)する Playbook の作成を単純化します。GKE クラスタをデプロイし、新しく割り当てられたクラスタを記述する返されたデータ構造を使用して、ノードプールを作成します。これらはすべて、認証コンテンツを使用した単一の Playbook で作成されます。

Google Kubernetes Engine クラスタの破棄

`gcp_container_cluster` モジュールを使えば、[GKE クラスタの破棄](#)は簡単です。クラスタ名、場所、状態をモジュールに指定すると、Ansible Automation Platform が自動的にクラスタを終了してリソースの割り当てを解除するため、クラウドのコスト管理に役立ちます。

Google Cloud での Web サーバーのインストール

Ansible Certified Content Collections を使用することにより、再利用可能な Playbook を記述して、Google Cloud 環境全体で [Web サーバーを一貫して簡単にインストールおよび設定](#)できます。認証済みモジュールを使って、YUM (Yellowdog Updater Modified) を使った Web サーバーのインストール、デフォルトホームページの設定、サーバーの起動、ファイアウォールの設定などを、すべて単一の読みやすい Playbook で行うことができます。

Red Hat Enterprise Linux のインストールへのパッチ適用

Ansible Automation Platform を使用すると、Red Hat Enterprise Linux® [オペレーティングシステムの完全なアップグレード](#)のような複雑な自動化ワークフローを Google Cloud インスタンス上で作成し、インフラストラクチャのメンテナンス作業を迅速化できます。新しいオペレーティングシステムのバージョンをダウンロードおよびインストールし、仮想マシンを条件付きで再起動し、インストールされたサービスとパッケージについて説明するレポートを自動的に作成する Playbook を作成します。そして組織全体で簡単に共有するために、Ansible Automation Hub に Playbook を公開します。

詳細はこちら

Ansible Automation Platform を使用して Google Cloud デプロイメントやハイブリッド環境、マルチクラウド環境を自動化する方法について詳しく学びましょう。[Ansible Automation Platform と Google Cloud](#) についての詳細をご覧ください、[Ansible Automation Platform](#) を無料でお試ください。



Red Hat について

エンタープライズ・オープンソース・ソフトウェア・ソリューションのプロバイダーとして世界をリードする Red Hat は、コミュニティとの協業により高い信頼性と性能を備える Linux、ハイブリッドクラウド、コンテナ、および Kubernetes テクノロジーを提供しています。Red Hat は、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、既存および新規 IT アプリケーションの統合、複雑な環境の自動化および運用管理を支援します。[受賞歴のあるサポート](#)、トレーニング、コンサルティングサービスを提供する Red Hat は、[フォーチュン 500 企業に信頼されるアドバイザー](#)であり、オープンな技術革新によるメリットをあらゆる業界に提供します。Red Hat は企業、パートナー、およびコミュニティのグローバルネットワークの中核として、企業の成長と変革を支え、デジタル化が進む将来に備える支援を提供しています。

アジア太平洋 +65 6490 4200 apac@redhat.com	インドネシア 001 803 440 224	マレーシア 1800 812 678	中国 800 810 2100
オーストラリア 1800 733 428	日本 03 4590 7472	ニュージーランド 0800 450 503	香港 800 901 222
インド +91 22 3987 8888	韓国 080 708 0880	シンガポール 800 448 1430	台湾 0800 666 052

[fb.com/RedHatJapan](#)
[twitter.com/RedHatJapan](#)
[linkedin.com/company/red-hat](#)